

知っていますか？ 認知症のこと

保健師からの

ちよつと

ちよつと

担当…小池

認知症について、どのようなイメージをお持ちですか。認知症の原因には、病気やストレスなど様々な要素があります。まだ明らかではない部分もありますが、原因になる病気はいくつかあり、その病気を治療することで症状の改善や、病気の進行を緩和することが可能となっています。

また、認知症は高齢者に多い病気ですが、年齢が若くても発症する場合があります。年が若いために症状が現れても認知症と気づかず、対応が遅れてしまうことも少なくありません。

◎認知症について正しく理解しましょう

認知症の治療には、早期受診・早期治療が重要です。早い段階で治療を始めることで、健康な状態をより長く維持することができます。しかし現状では、症状が進行していたり、家族や周りが困ってから相談、受診につながるが多くなっています。認知症の症状は、本人に自覚症状がなく、物を盗られたなど被害的であったり、疑り深い、強い不安を抱えているなど、本人の病気と生きてきた人生によって様々です。それ故に、いっしょに生活する家族の心身の疲労と迷い、悩みはとて深刻です。

大切なのは「自分は大丈夫だろうか。」「友達・家族の最近の様子が気になる。」などの早い気づき、そして周りの正しい理解と対応、温かい声かけと見守りにより、本人にあった環境をつくることです。

◎相談は地域包括支援センターへ

町では「高齢者のよろず相談所」として、介護や認知症、家族の相談窓口を設置しています。また認知症に対する正しい知識の理解と対応、疑問にお答えする認知症サポーター養成講座も開催しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

◎チェックしてみましょう！（認知症の初期症状）

※認知症の診断をするものではありません。

1. 今日の日付、曜日を思い出せない、何度も確認する。
2. 同じことを何度も言う。周りの人から同じ話を繰り返し聞いていると言われる。
3. 置き忘れやしまい忘れ、探し物が増えた。財布や通帳などを盗まれたという。
4. 薬の飲み忘れが増えた、飲んだかどうかわからなくなる。
5. 前に買ったことを忘れ、同じ物をたびたび買うようになった。
6. ガスのつけっぱなし、鍋を焦がす、水道の止め忘れが増えた。
7. 身だしなみをかまわなくなった。着替え、入浴が嫌になった。
8. 決まった日課をやめた。趣味などが楽しめなくなった。
9. 簡単な計算に手間取る。買い物でお金の計算が出来ない。
(財布に小銭が増える。)
10. リモコンや洗濯機など電化製品の操作がうまくできない。
11. 一人になることが不安。外出がおっくう。
12. ささいなことで怒りっぽくなった。落ち着かずイライラする。



問合せ 健康福祉課地域包括支援センター

☎62-1233